



隠岐高校吹奏楽部の皆さん

「朝の目覚めをさわやかに」  
「今日も二日お疲れ様」の心を込めて

防災無線放送を利用して、朝は六時三十分、夕方は五時の時報を、曲でお知らせしています。先日から流れている曲と、演奏の皆さんを紹介します。

朝の曲『浜辺のうた』を演奏してください。つづいては、隠岐高校吹奏楽部の皆さんです(写真左)。大会もせまっています忙しい時期でしたが、朝の目覚めの大切な曲を一生懸命、心をこめてさわやかに演奏してくださいました。また、夕方の曲『夕焼け小焼け』を演奏してください。つづいては、西郷中学校吹奏楽部の皆さんです(写真右)。夕方は、一日の仕事等で疲れている皆さんに、お疲れ様です、明日もがんばりましょうとの気持ちを含めての演奏です。



玉若酢命神社 御霊会風流



この日役場に訪れた3人は放送室で防災無線放送を体験し、戸惑いながらもマイクに向かいました。感想は「すこしくはしゃいだ」「やってみると楽しかった」のようです。

五月三十日(月)、社会科の体験学習で加茂小の3年生3人が役場を訪問しました。この体験学習は、「町のようす」をテーマに、いくつかの班に分かれて公共の施設を訪問し、学校の様子の違いを学習するものです。

### 加茂小学校体験学習



西郷中学校吹奏楽部の皆さん



女性の力を結集して!

「隠岐島後婦人会連絡協議会」組織を再編し  
隠岐の島町婦人会結成

五月二十八日(土)、会員の資質を高め相互の親睦と生活の向上を目指すこと、地域社会の福祉増進に努めることを目的として、隠岐の島町婦人会が設立されました。旧町村の婦人会を、それぞれ支部として結成されています。

事業計画では、各研修や、環境活動が予定されました。環境活動の主なもの、本年から三年間県の女性ファンドの助成を受けて実施する花の里作り、「ゴミの減量のためのマイバッグ運動」の推進が盛り込まれています。

特にこのマイバッグ運動は、環境省もシシ袋の有料化を検討している中において、会員のみでなく、消費者全体に広げていくよう活動を進めていくこととしています。

総合誌

# 隠岐の島

おきのしま

OKINOSHIMA TOWN PUBLIC INFORMATION

◆人口 17,328(-22)人 男 8,252(-13)人 女 9,076(-9)人 世帯数 7,356(+1)戸  
(平成17年6月1日現在、カッコ内は前月比)

●竹島問題の基礎知識(下)



総合誌隠岐の島7月号  
(通算第9号)

■編集・発行  
隠岐の島町役場情報課広報公聴係  
〒685-8585  
島根県隠岐郡隠岐の島町城北町1番地  
TEL (08512) 2-2111 (代表)  
FAX (08512) 2-6477 (情報課直通)

■ホームページ  
<http://www.town.okinoshima.shimane.jp/>

■Eメール  
[jouhou@town.okinoshima.shimane.jp](mailto:jouhou@town.okinoshima.shimane.jp)

梅雨入り報道があったにもかかわらず、天気は晴れ々晴れ々晴れ。この夏はどうなるのかと今から心配しています。

冷房費の節減、地球温暖化防止を目的に、国では「クールビズ」としてノーネクタイなどの夏の軽装運動をはじめました。隠岐の島町でも六月半ばからスタートしています。

ところで、環境省によるとノーネクタイなどを実施することで体感温度が二度下がるそうです。その分冷房費を節約できるというわけですね。ただ、ノーネクタイにはやはり抵抗がある方が多いようです。外回りが多い方など職種によっては仕事にならない、という声も。しかし、そもそもネクタイが「正装」になったのはいつからなのか。ネクタイが現在の形になったのはおよそ百年前だといわれています。今こそネクタイは常識ですが、百年後には「ネクタイでは仕事にならない」という時代が来ているのかもしれないね。(安)

# 竹島問題の基礎知識(下)

## 隠岐島民と竹島の歴史

先月号の特集では、竹島の領土問題のあらましを紹介しました。しかし、国際法や政治の説明などが中心だったため、やや実感のわきにくい内容だったかもしれません。そこで今回は、「隠岐の島と竹島の関わり」というテーマで、ふたりの方のお話をつかがながらその歴史を紹介します。



竹島でのアシカ猟 生け捕りにしたアシカの仔

### 竹島の発見

鬱陵島への寄港地として知られる

竹島はいつ発見されたのか、その正確な時期はわかっていません。先月号でも紹介したように、少なくとも1661年までに米子の廻船問屋・大谷家と村川家が江戸幕府から竹島を拝領しています。実は両家が経営の中心としていたのは鬱陵島(つりょうとう)でした。

鬱陵島は、竹島の西北西約90 にある島で、面積は約70平方 (西ノ島と知夫里島を合わせたほど)。周囲は好漁場で、また白檀や桐などの森林資源が豊富に残されていました。この当時、鬱陵島は朝鮮国政府によって、空島政策<sup>1</sup>がとられていて、朝鮮人は住んでいませんでした。空島政策とは、犯罪者や税金逃れで島に渡る者が多かったためにとられた政策です。そのため、この島は長く無人島と考えられていました。

大谷・村川両家は竹島拝領の約40年前の1618年に鬱陵島を拝領して渡海免許を受け、漁業・木材の伐採などを行っています。

このリアンコールト岩は「リャン」「ラン」などとなまって、一般の漁民の間では長く使われました。昭和に入ってから、久見では「竹島」よりも「ラン」の方が通っていたそうです。

### 領土編入と本格的漁業の操業

主力はアシカ猟

明治38年(1905年)2月22日、島根県告示第40号で「リアンコールト岩」は正式に「竹島」と命名され、日本の領土に編入されました。このとき、その立役者となったのが鳥取県出身で西郷に渡り、隠岐周辺で漁業を営んでいた中井養三郎氏です。

竹島は、アワビ・サザエ・イカなど魚介類が豊富ですが、それ以上にアシカが非常に多く生息していたことも知られていました。隠岐島民による竹島でのアシカ漁が始まったのは明治30年頃と言われています。中井氏は明治36年からアシカ猟を試みますが、37年には各地から集まった猟師によって乱獲が行われ、当時所属がはいまいたった「リアンコールト岩」を正式に領土編入すること、島の貸与を願い出たのです。



竹島海驢(アシカ)漁業鑑札(許可証) 写真は 大正9年のもの

こうして竹島の領土編入とともにアシカ猟は許可制となり、中井氏らの設立した「竹島漁獵合資会社」による本格的な操業が始まりました。

このアシカ猟は当初は年間1,600〜2,000頭を捕獲し、皮、肉、骨、油などに加工して販売されました。しかし結局乱獲の影響か、その漁獲量は減っていき昭和に入ると年20頭前後まで落ち込んだため、それまでの皮や油を目的とした漁業から、サーカス団や動物園などへ売るための生け捕りへと考え方が変わっていききました。また、この頃竹島漁業権は久見の漁協へ移っています。

この昭和期のアシカ猟について、昭和29年の試験操業にも参加された、五箇地区久見の八幡尚義さんに当時の様子をつかがいきました。

竹島へは春秋二回、小屋を建てて一ヶ月ほど滞在し、アシカ、ワカメ、アワビ、サザエなどを主に採っていたといいます。アワビなどは、アワビの上のアワビが乗っていた<sup>2</sup>というほどの量があり、80貫(90貫)約300 340 (という量を一日で採ったそうです。また、竹島のアワビは潮の流れが早かったせいか殻が波打っていて、ボタンなどに加工できなかつたということです。

アシカについては、当時生け捕ったアシカを久見川に放して、また子供だった八幡さんは、抱きついたり一緒に泳



今回、お話と資料を参考にさせていただいた藤田茂正さん(五箇地区 郡)

もともと竹島は、この鬱陵島へ渡るための寄港地、また副漁場として利用されてきた島だったので。当時、鬱陵島への航路は隠岐 竹島 鬱陵島というのが一般的で、鬱陵島への船は五箇の福浦港で風待ちをして、出航していました。福浦湾には弁財天のほこらが、渡航する者は行き帰りに航海安全を祈願して参拝しました。当時は船も粗末で、竹島や鬱陵島への渡航は命がけだったといことがうかがえます。

隠岐島民も大谷家に水夫か(船乗り)や木こりとして雇われて鬱陵島へ渡った者はいたようです。その途中で竹島を訪れた者もいたことでしょう。ただ、当時隠岐では林業が盛んで、島後だけで運送の廻船を百隻以上持っていたという時代でした。わざわざ鬱陵島まで行って木材を取る必要はなく、また漁業をするにも小さな船では到底渡航できなかつたため、この当時隠岐島民の出漁などは考えられなかつたとみられています。本格的に隠岐島民が竹島に関わるのは

いだりしたというほど人に慣れていたといえます。

この竹島漁業の操業は、戦争激化を受け、昭和16年を最後に中断となりました。

### 終戦〜李ライン宣言そして最後の出漁

昭和27年(1952年)李承晩韓国大統領によるいわゆる李ライン宣言<sup>3</sup>によって、竹島をめぐる日韓の動きはにわかに激しくなりました。日韓両国は何度も竹島へ船を送って、領土標識を立てたり、相手の領土標識をはずして捨てたりなどの小競り合いを繰り返していました。

そんな中、昭和29年(1954年)5月、島根県の要請により竹島漁業権を行使するため、久見漁協から11人が竹島へ出漁しました。その時のメンバーのひとり八幡尚義さんです。

当時李ラインに入った日本漁船は韓国によってだ捕や発砲を受けており、命がけの航海となった時代でした。出航は「絶対秘密」、海上保安庁の巡視船五隻で八幡さんたち11人が乗る県の取締船島



昭和29年、竹島に渡った八幡尚義さん(五箇地区 久見)

そのずっと後、明治時代に入ってからのことでした。

1696年江戸初期、朝鮮国と鬱陵島をめぐる領有権紛争が起つたため、幕府は朝鮮国の領有権を認め、日本人が鬱陵島へ渡航することを禁止しました。大谷・村川両家の鬱陵島経営もこれで歴史を終えます。それからしばらくの間(密貿易を除いて)竹島・鬱陵島への渡航について、目立った動きは見られなくなりました。

### ヨーロッパの船による竹島発見 混乱する島名

実は現在の竹島は、江戸時代初期までに発見されて以来、長い間「松島」という名で呼ばれていました。当時「竹島」とは鬱陵島のことを指していたのです。

18世紀末ごろから、ヨーロッパの探検船や捕鯨船、商船などが日本海に現れて航行するようになると、竹島や鬱陵島を無人島だと考えて、新発見として新しく地図に書き加えていきました。中には島の位置が間違っていたために、本来は存在しない島が書き加えられた地図もありました。さらにそれが日本に逆輸入されたことで、島の名前は混乱しました。結局、1905年の領土編入で名前が変わるまで、現在の竹島は発見したフランス船の名前にちなんで「リアンコールト岩」と呼ばれることになりました。

風を守っての物々しい出漁となりました。

久見港を出発して島前で巡視船と合流し、約10時間かけて竹島へ到着。持ち込んだ漁船で3〜4時間操業し、ワカメ2,000貫約7,500 (アワビ、サザエ100貫約375 )などを採取し、日帰りで帰路につきました。このとき事前に「指示がでたらすぐ(に)操業をやめて母船に(帰って)来い」といわれていたそうです。秘密厳守で臨んだため韓国船は現れず、無事久見港に帰ることができた11人ですが、当時の社会情勢がうかがえます。

この昭和29年の竹島出漁のわずか3カ月後、韓国は警備隊を常駐させることを決定、そして日本から竹島への渡航は絶え、現在に至ります。

### まず「知る」ことが 解決への一歩

先月、今月と2回に渡って竹島問題を取り上げました。解決は簡単にはいきませんが、ひとりでも多くの方が竹島問題を知り、竹島の歴史を知ること、確実に解決に近づきます。領土権、漁業の安全操業の実現のため、竹島の属する隠岐の島町に住む私たちは、何よりこの問題を知っておくことが必要なのではないでしょうか。

福祉医療対象者の皆様へ

平成17年10月から福祉医療が変わります。

- ◎対象者の方の本人負担額が医療費の1割になります。
- ◎1ヶ月当たりの本人負担額は、次の額を上限とします。

区分	入院	入院外
一般の方	40,200円	12,000円
市町村民税非課税の世帯に属する方	7,500円	4,000円
20歳未満の障害児(者)	2,000円	1,000円

※金額は、1ヶ月1医療機関当たり

◎薬局では、従来どおり、本人負担はありません。

- ※医療機関等への周知は6月上旬に行いました。
- ※現在、福祉医療の対象となっていっしやる方は、医療証の有効期限が9月末まで延長されます。
- ※10月からの新制度の認定を行いますので、更新手続きを8月中に行ってください。
- ※上記手続きについては、後日連絡いたします。

お問い合わせ先： 隠岐の島町役場 健康福祉課 福祉係 電話 2-8561

『養護老人ホーム清松園拡張・改修整備工事』 順調に進む！

昭和50年に開設し30年を経過した郡地区の養護老人ホーム清松園を、昨年から高齢者が生活しやすいように改修工事を行っています。

改修内容は、2人部屋を1人部屋に変更し、不足する部屋27室を新たに敷地内に整備するもので、入所定員は改修前と変更ありません。(55人)

整備方針の主なものとしては、

・入所者の尊厳が守られ、プライバシーが確保できるよう、全居室を個室化する。

・入所者55人を全職員で介護するケアから、入所者をグループに分けて家庭的で入所者となじみの関係を築き、生活を共にしていくケア(ユニットケア)を実現していくため、入所者9人ずつの家(棟)を3棟整備する。

・自己実現や自立支援が図れるよう、食事やおやつ等も各棟で職員と共に作ることが可能となるキッチン整備や浴室、トイレ、洗濯室を整備する。

・旧棟もそれぞれの棟の中央部にキッチン及び食堂兼談話室を整備する。

5月31日には新たに建築する3棟の内2棟が完成し、古い棟から入所者に移っていただき、今後旧棟の改修工事を行い、全施設の竣工は平成17年12月を予定しています。



行財政改革  
審議会が発足

行財政改革を町民の目線で審議する「行財政改革推進審議会」の第1回会議が6月8日(水)に隠岐島文化会館で開催されました。

同審議会は、公募委員5名を含む12名(男性8名・女性4名)で構成されており、町長の諮問に応じて、行財政改革の基本的な方向性を示す「行財政改革大綱」について調査・審議を行い、9月末までに町長に答申します。

会議では委嘱状が交付され、町長から行財政改革にかかる3点の指針と15の方針を取りまとめた大綱(案)について諮問が行われました。

その後、町の現況説明を受け、大綱策定までのスケジュールなどを確認しました。

また、委員の互選により、会長に佐々木菊雄さん、副会長に遠藤元美さんが選ばれました。

佐々木会長からは、「国県市町村を通じた厳しい財政状況の中で、従来の行政の体質を見直す等、新しい町の行財政改革について審議し、答申を行いたい。」と挨拶がありました。

委員は次の方々です

○公募委員

荻原 治男  
梶村留美子  
竹林 美清  
野村 吉秀  
村上 嘉郎

郡 中 大 都 岬  
町 久 万 町

○識見者委員

遠藤 元美  
小川 静香  
斎藤 轟一  
佐々木菊雄  
津田 中二  
松本 福二  
若林 京子

北方 大久  
都万 岬町  
布施 港町  
湊 港町

(敬称略)



【諮問事項】  
行財政改革大綱(案) 抜粋

本町の行財政改革は財政の健全化を最優先に、地方分権、地域住民の多様なニーズに対応できる行政組織の再編や住民参加システムを構築するため、次の3点を指針に定め、徹底した行財政改革を推進します。

- ・ 財政健全化とメリハリのある財政運営
- ・ 組織改善と職場の活性化
- ・ 情報公開と住民参加システムの構築

1 財政健全化とメリハリのある財政運営

危機的な財政構造の改善を図るため、限られた財源の有効活用とメリハリのある財政運営に心がけ、将来にわたって安定した財政基盤の確立を目指し、次の方針を重点に取り組みます。

- (1) 人件費の抑制
- (2) 施設管理経費の節減
- (3) 事務事業の見直しと行政評価システムの構築
- (4) 民間活力の活用

2 組織改善と職場の活性化

住民のための組織再編、職員の資質向上と人材育成を目指し、次の方針を重点に取り組みます。

- (1) 職員等の定員適正化
- (2) 行政組織の見直しと職員意識改革
- (3) 職場内の情報の共有化

3 情報公開と住民参加システムの構築

行政は積極的に住民との情報の共有を図り、住民への施策の説明責任を果たすとともに住民参加のまちづくりを推進するために、次の方針を重点に取り組みます。

- (1) 住民との情報の共有化
- (2) 住民参加と協働システムの構築

○大綱の期間は平成17年から平成21年までの5カ年間とします。

# 自衛官募集のお知らせ

国の平和と独立を守るとともに、災害や国際貢献で活躍する自衛隊では、次のとおり募集を行います。



一般曹候補生（陸・海・空）  
2カ年の教育終了後、3等陸・海・空曹になる  
応募資格 18歳以上24歳未満の者  
応募締切 9月8日（木）  
採用試験 9月17日（土）

曹候補士（陸・海・空）  
入隊後、3年以降選考により3等陸・海・空曹になる  
応募資格 18歳以上27歳未満の者  
応募締切 9月8日（木）  
採用試験 9月17日（土）

2等陸・海・空士  
2～3年を任用期間とする隊員  
応募資格 18歳以上27歳未満の者  
男性の場合  
応募締切 9月14日（水）  
採用試験 9月18日（日）及び  
9月20日（火）～22日（木）  
の間のいずれか1日

女性の場合  
応募締切 9月8日（木）  
採用試験 9月26日（月）

航空学生（海・空パイロット）  
約2～4カ年で海・空のパイロットになる  
応募資格 高卒（見込）21歳未満の者  
応募締切 9月8日（木）  
採用試験 9月23日（金）

看護学生（陸上）  
3ヶ年で卒業し、看護師国家資格取得後、2等陸曹になる  
応募資格 高卒（見込）24歳未満の者  
応募締切 9月30日（金）  
採用試験 10月16日（日）

防衛医科大学校学生  
6ヶ年で卒業し、医師免許取得後、医官（幹部）になる  
応募資格 高卒（見込）21歳未満の者  
応募締切 9月30日（金）  
採用試験 11月5日（土）～6日（日）

防衛大学校学生  
4ヶ年で卒業後、幹部候補生学校にて一定の教育訓練を受けた後、陸・海・空の幹部になる。  
応募資格 高卒（見込）21歳未満の者  
応募締切 9月30日（金）  
採用試験 11月12日（土）～13日（日）

【お問い合わせ先】  
隠岐の島町役場総務課（電話2 2111）  
自衛隊島根地方連絡部 松江募集案内所  
（電話0852 24 6537）

## 町営住宅の入居申込について

平成17年6月1日より、町営住宅の入居希望者を1年間の登録制とします。

現在、すぐに入居できる住宅はありませんが、空き家が発生した場合、登録者の中から抽選を行い、入居を決定します。申し込み期間は、平成17年6月1日から平成18年5月31日までとなっており、毎年6月に登録を更新することになります。

申し込みの手続きは、隠岐の島町建設課住宅公園係または、最寄りの各支所、出張所で入居申込書に必要事項を記入の上、必要書類を添えて提出してください。（募集要項、入居申込書は隠岐の島町のホームページからダウンロードできますのでご利用ください。）

<http://www.town.okinoshima.shimane.jp>

隠岐の島町の住宅情報は、公共賃貸住宅情報ナビをご利用ください。（県内全域の公営住宅が検索できます。）

【島根県建築住宅センター】<http://www.simajyu.jp>

### 申込に必要な書類

- ・公営住宅入居申込書
- ・入居しようとする方全員の所得証明書
- ・入居しようとする方全員の住民票

### 問い合わせ先

隠岐の島町役場建設課住宅公園係（TEL：2-8564）  
布施支所地域振興課（TEL：7-4311）  
五箇支所地域振興課（TEL：5-2211）  
都万支所地域振興課（TEL：6-2311）  
中出張所地域振興係（TEL：4-0002）

## コイヘルペスウイルス病にご注意ください

コイヘルペスウイルス病は、ウイルスを原因とするコイ特有の病気です。他の魚や水産動物、人には感染しません。

県では病気の発生とまん延防止に取り組んでいます。次の取り組みにご協力ください。

### 1. ちょっと待って！コイの放流

川や池などにコイを放流しないでください。死んだり弱ったりしたコイを川や池などに捨てないでください。（焼却するか埋めましょう）釣りなどで捕獲したコイを別の水域に放流しないでください。

### 2. そのコイどこから来たの？

入手経路が不明なコイを、譲ったり、もらったりしないでください。

### 3. 異常コイを見つけたら

コイが一度に大量に死んだり、次々と死んでいくなど異常がある場合は、そのコイを移動せずに、下記へ連絡してください。

### 問い合わせ先

島根県農林水産部水産課 TEL 0852-22-5323  
島根県内水面水産試験場 TEL 0853-63-5101  
島根県隠岐支庁水産局 TEL 2-9668

長野さんは、長年にわたり分娩業務に携わり、町の新生児誕生に尽力してこられました。これまでに取り上げた新生児は、隠岐病院勤務時代、助産院開設期をおして5千人を数えます。



長野千恵子さん（有木）

小柏さんは、西郷小学校校長、西郷教育事務所長、隠岐島後教育委員会教育長などを歴任し、隠岐の学校教育、社会教育の発展に尽くしてこられ、その情熱と功績が認められたものです。



小柏美金さん（岬町）

5月12日（水）、平成17年春の叙勲の伝達式が行われ、小柏美金さん（岬町）と長野千恵子さん（有木）が、それぞれ瑞宝双光章を授章されました。隠岐の教育に貢献

平成17年 春の叙勲  
小柏美金氏と長野千恵子氏に  
瑞宝双光章

## 流出油災害ボランティア基礎講習会 in 隠岐の島

### 趣旨

ナホトカ号流出油事故のようなとき、油防除のためのボランティア活動に期待がよせられますが、油に関する知識を持たないボランティアばかりが集まっても成果があがらないばかりか、混乱をまねきます。

そこで、流出に関する基礎知識を持ちたい方を対象に講習会を開きます。

日時 平成17年10月8日（土）13:00～17:00  
9日（日）08:30～12:00

会場 島根県立隠岐水産高等学校  
募集人数 40人（どなたでも参加できます）  
カリキュラム（予定）

### 【座学】

流出油事故対応に必要な基礎知識として「流出油の種類および性状」「流出油事故対応の基礎」「現場の安全管理」について行う。海岸清掃における留意点を研修所での実習状況ビデオで説明。

### 【実習】

#### 《ロープワーク》

作業現場に必要なロープワークについて

#### 《小実習》

水槽、ピーカーを使用した油処理剤や吸着剤の効果と限界について

#### 《オイルフェンス実習》

オイルフェンスの連結方法、固定方法等の取扱い方について

#### 《海岸清掃実習》

作業員による汚染拡大防止方法

一升瓶を使用して土嚢袋への油の入れ方

ひしゃくによるすくった油の水切り方法

吸着材の使用方法

回収油の保管方法

申込先 海守事務局

〒105-0001

東京都港区虎の門1-15-16 海洋船舶ビル8階

申込方法

電話 03-3500-5707

Fax 03-3500-5708

メール info@umimori.jp

応募〆切 平成17年9月25日（日）

共催 海守、日本財団

協力

独立行政法人海上災害防止センター、

隠岐海上保安署、

島根県立隠岐水産高等学校、おき西郷漁業協同組合

参加費

一人1,000円（教材費の一部負担として）

問合せ先

海守事務局 TEL 03-3500-5707

隠岐海上保安署 TEL 2-4999

<http://www.osaka-jma.go.jp/matte/saigo>

情報は、西郷測候所ホームページでも紹介しています。

### お問い合わせ

21562



## 夏休みお天気教室を開催します

西郷測候所では、8月28日（日）に「夏休みお天気教室」を開催します。開催概要は次のとおりです。ご来所お待ちしています。

開催日時 8月28日（日）  
午前10時～午後2時  
開催場所 西郷測候所  
西町大城の12番地

### 労働災害防止をめざして

## 全国安全週間 7月1日～7月7日

トップの決意とみんなの創意  
リスクを減らして進める安全

### もう一度「安全第一」について確認しましょう！

全国的に、平成15年夏以降、わが国を代表する企業において爆発・火災による災害が頻発し、平成16年においても、製造業において一度に多数の労働者が被災する重大災害が増加するなど、社会的にも注目されるような災害が増加しています。

その要因は様々あると考えられますが、特に近年、次の事項が大きな問題として取り上げられています。

- ・経営トップの安全に対する認識が不十分
- ・リストラ等による安全担当部署のスタッフ不足と、現場も含め「技能の伝承」がうまく行われないことから生じる、スタッフの知識・経験不足
- ・経営の合理化、コストの削減等による安全管理にかかる予算の削減

安全管理活動を組織的に行うためには、適正な安全衛生管理体制の確立と、各級管理者の職務権限を明確にし、それぞれが責任と自覚をもって安全管理活動を行わなければなりません。

是非、この全国安全週間中に、経営トップが安全にかかる所信をあきらかにし、安全管理体制をもう一度確認し、皆が「安全第一」に心がけ、けがのない快適な職場づくりに取り

**図書館だより**  
 隠岐の島町立図書館  
 電話 08512-2-2341  
 FAX 08512-2-9198  
 s-tosho@mx.miracle.ne.jp  
 ●開館時間10時～18時  
 ※最終金曜日は14時開館  
 ●閉館日(月曜日・第3日曜日・祝日)  
 ※祝日が月曜・第3日曜と重なった場合は翌日も閉館

**図書館運営委員会  
 が開かれました**

五月二十一日(土)、図書館運営委員会を開催し、平成十七年度の事業計画などを説明したところ、委員の皆様からは、たくさんのご意見を頂きました。今後は、それらのご意見を参考にしながら、より良い図書館の運営を目指していきたいと思えます。今後ともよろしくお願致します。

**有木小学校  
 読み聞かせボランティアの会**

有木小学校に毎週読み聞かせに行かれていますボランティアの方々が集まって、選書の仕方などを学ぶ研修会を図書館で行いました。おはなしのへやボランティア代表の秋庭ゆみ子さんが、読み聞かせに適した絵本の条件や、読むときに注意する点などについてお話



有木小学校読み聞かせボランティアの会の様子

しをされました。(図書館に関わりのある会などをされる場合は図書館の研修室をぜひ活用ください)

**郷土資料収集のお願い**

隠岐に関する資料(古いもの、新しいもの)を収集・保存しています。ご寄贈、情報の提供をお願いします

**新しいビデオが入りました**

ブラザーベア/くまのプーさん/死ぬまでにしたい10のこと/半落ち/ジョゼと虎と魚たち/猟奇的な彼女/とてもやさしい!中高年のためのパソコン1/3 など。  
 ☆貸出中の場合は予約できます。ぜひご利用ください。

**今回のおすすめ!**

●**図解同窓会へ行こう!**

目からウロコの編集部/同窓会  
 お助け特捜班編 第三文明社

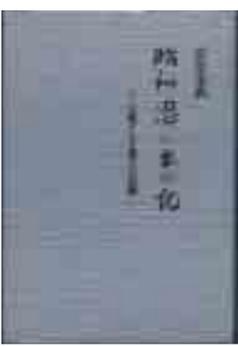


なつかしい同窓生とひさしぶりに会ってみたいと思う人は多いはず。そんな願望を満たしてくれるのが同窓会。この本では、同窓生への連絡の仕方、当日の服装、「えっ、あの人は?誰だかわからん!」対策等、役立つ情報が盛り沢山。あなたもこれを読めば同窓会の勝ち組になれる。

●**昭和思い出の記  
 ・大映テレビ独立の記録・**

安倍道典/著

講談社出版サービスセンター



大映テレビ設立者がつづる自分史。生い立ち、出会った人物や戦争、敗戦、さまざまな出来事をつづる。また、著者は一時期隠岐で暮らしていたことがあり、その当時の生活の様子が本書の第二章につづられている。日本映画界をリードしたワンマン社長の「喜怒哀楽」と、劇的な大映倒産、その混乱の中での大映テレビ設立の背景を描いた書。(著者寄贈)

・・・おしらせ・・・

★**写真展開催中**  
 ただいま図書館展示コーナーにおいて、「第8回しまねの農村景観フォトコンテスト」入賞作品の展示をしています。ぜひご覧ください。(7月3日まで)

★**花ボランティア募集中**  
 花の好きな方を募集しています。隠岐の島町図書館の庭に、花を咲かせてみませんか?ボランティアで図書館の庭の整備をしてくださる方、ぜひ図書館にご連絡ください。

**公民館コーナー**

改組改名して再スタート

**『西郷地域まちづくり運動協議会』発足**

新会長に重栖眞快氏・新副会長中村嘉孝氏と  
 吉岡陽子氏が就任

【ごあいさつ】



昭和六十二年五月の総会席上、西郷町まちづくり運動協議会の二代目会長として推挙されて以来、九期十八年間を微力ながら勤めさせていただきました。

この間、一貫して西郷町民憲章の具現化を基本理念として、「まちづくりは人づくり・人の心づくり」をモットーに、一万三千余町民の皆様方の限らないご理解とご支援を得て、「話し合いから計画を・出来ることから実行へ」を振りかざし、五地区五十分館を出前巡回し、膝を交えて「わがとこを良くする懇談会」を実施してまいりましたが、それは必ずしも順風満帆ばかりではなく紆余曲折もあり、時には批判の声も聴くなど、摸索思案の連続でもありました。しかし、出前巡回することによって、各地域の実態と現状を把握できたことは勿論のこと、多くの方々

との出会いやふれ合い、また力強いエネルギーをいただき、素晴らしい彩りを与えていただいた十八年間ありがとうございました。

昨年十月一日をもって島後町村が合併し、新町「隠岐の島町」として誕生し、旧町村名が廃除されることとなり、これに端を発し当協議会の存続可否について、各機関・諸組織団体の重臣の方々にお諮りいたしましたところ、折角十八年間も培ってきた組織であり「ぜひ存続すべきだ」との声が強く、これを真摯に受けとめ度重なる役員・理事会を経て、去る五月二十一日総会を開催し、新たに改組改名して再スタートすることとなりました。総会席上役員選任の段階で再び会長に推されましたが、益々多様化し山積する諸問題の増大するなか、その重責に戸惑いを感じているところでございます。

幸い経験豊富な新副会長ご両人の英知を賜りながら、新しく構成された理事・三部会役員・各分館長・構成員の皆様方との連携を一層強化し、過去に掲げてまいりました理念と志を継承し、さらなる発展を期するため、その内容において、「より安心」「より安定」「より安全」をモットーに、地域住民の本質に迫るための「まちづくり」のために、全精力を傾注すべく決意を新たにいたしました次第でございます。

いま求められている地域住民の皆様方の要望に込められるべく、独自の展開を目指してまいりますので、今後共一層のご理解とご支援を賜りますよう、何とぞ宜しくお願いを申しあげまして、就任のご挨拶といたします。

**すべての親に対してきめ細やかな  
 家庭教育の支援を目指して!**

〜西郷地域家庭教育支援総合推進協議会の発足〜

西郷公民館では、今年度の運営方針の重点施策の一つとして特に家庭教育の学習の推進に努めていきます。

近年、都市化・核家族化・地域における地縁的なつながりの希薄化に起因して家庭の教育力の低下が指摘されているところであります。

そこで、文部科学省の家庭教育支援推進事業の制度を受け、西郷地域のすべての親に対するきめ細やかな家庭教育の支援体制を目指して、教育・行政・地域の連携を図り、先ごろ西郷地域家庭教育支援総合推進協議会を立ちあげ、家庭教育に関する講座を開催することになりました。

この講座は、西郷地域内の妊婦さん、乳幼児・児童・生徒を持つ親を対象に、心豊かな子どもの育成を図るための学習機会を提供、支援することをねらいとして進めてまいります。

この講座については  
 広報等で  
 お知らせします

五月二十三日（月）、西郷中学校において「スクールミーティング」が開催され、文部科学省の小泉顕雄政務官及び同省の職員三名が、教員と意見交換を行いました。



小泉政務官との懇談会の様子

スクールミーティングとは、文部科学大臣をはじめ、同省の職員が各地の小中学校に出かけ、授業を視察したり、教職員や保護者、児童生徒と意見交換を行ったりすることで、教育現場の率直な声を教育改革の推進に取り入れることを目的とした事業です。

## 現場の声を教育改革へ

### ～文部科学省職員と意見交換～

校長、教頭との管理職懇談会では、「子ども同士の人間関係」等学校の抱える課題や、「総合的な学習の時間」について意見交換を行いました。

教員五名との懇談会では「総合的な学習の時間」が果たす役割や「子どもたちの心と体」のケアの重要性を中心に活発な意見交換が行われました。特に総合学習については、「昔は『家で可能であった自然体験や異世代交流等の様々な体験が、社会の変化で出来なくなった現代において、それを意図的に行うことにより子どもたちに自然やふるさとの大切さ等を伝えることが出来る総合学習はもつと評価されるべきである』という意見や、『学力の低下』が盛んに叫ばれている中で、学力テストの点数で評価される『学力観』が先行し、総合学習のように生きる力を育む『学力観』が軽視されているのではないか」という意見が相次ぎました。これに対し、小泉政務官は「子どもたちの成長力を評価し、伝えるべき工夫が必要」と述べていました。

## スタッフは地元小学生！

### NHK放送体験クラブ移動スタジオ開かれる

隠岐島文化会館にNHKの放送スタジオがやってきました。キャスター、リポーター、カメラマン、各ディレクターなど、スタッフは全て隠岐の島町の小学生が担当し、自分たちで番組の制作、収録を行いました。番組名は「隠岐を伝えよう、NHK放送体験クラブ移動スタジオ」。



緊張しているキャスター3人

これは小学生に番組作りを通じて放送の仕組みと役割について、楽しみながら学んでもらうことを目的としたNHK主催のイベントで、五月十七日から十九日にかけて、西郷小、中条小、有木小、今津小、加茂小、中村小、布施小、那久小の五、六年生が参加しました。



初めて触る機材にわくわく

NHKの用意したシナリオに沿って気象情報等の模擬番組の収録を体験した後、いよいよ本番。実際に自分達で製作した番組を収録しました。NHKの職員のサポートを受けながらリハールを行なった児童達は少し緊張した面持ちでしたが、本番になると緊張もほぐれ、それぞれの担当を堂々とこなしていました。また、別室では『納得！なんでも学習』として、NHKの仕事や放送の仕組みを勉強しました。

児童達は普段画面を通してしか接することのない『番組』を、作る側に立って実際に体験し、楽しく興味深い時間を過ごしました。



## クヌギの森にて

五月二十二日（日）に第一回目の「クヌギの森にあるもの」が開催されました。この活動は、文部科学省が行なっている、「地域子ども教室推進事業助成事業」を受けて行われています。（スタッフとして、隠岐自然クラブ・公民館・生涯学習課等のメンバーが参加）

「隠岐の素晴らしい自然と触れ合いたい。自然と触れ合いながら体験活動がしたい。」と考えている大人や子どもたち約八十名が参加しました。

クヌギの森では、まず危険な動植物（ツタウルシ・ミヤマイラクサ・スズメバチ・マムシ等）について紹介しながら、森での安全な過ごし方をみんな確認した後、野草の観察を（天ぷらにする食材探しも兼ねて）しました。昼食はみんなで竹串にパンの生地を巻きつけて焼きましたが、その火を起こすのに大騒ぎ！巨大火起こし器で三十分以上かかりました。午後は野鳥観察と昆虫観察のグループに分かれ一日中ク



【昆虫の説明をする隠岐自然クラブの島田さん】

クヌギの森を楽しみました。

「クヌギの森にあるもの」の開催は全十二回を予定しており、いずれも隠岐の自然とふれあう、わくわくするような活動が予定されています。

### 放送大学 第二学期（十月入学） 学部生・大学院生募集！

#### 【募集期間】

六月十五日～  
八月三十一日

#### 【資料請求・お問い合わせ先】

千六九〇一〇〇六一  
松江市白湯本町四三  
（ステイックビル四階）

放送大学島根学習センター



## ふるさと教育



今年度から始まった、「ふるさと教育推進事業」は島根県教育委員会の重点事業の一つで、県内の全小中学校、全市町村で取り組んでいます。

この「ふるさと教育」は、一口で言うとうと、ふるさとを切り口にした『心の教育』です。

地域には、優れた知識や技能を持った「ひと」がたくさんいます。また、その地域ならではの、自然・歴史・文化・伝統行事・産業などの「もの・こと」がたくさんあります。

学校と家庭と地域が一体となって、これらの教育資源（ひと・もの・こと）を積極的に活用した教育活動を展開することに、児童生徒の【生きる力】を養い、心豊かでたくましい、明日の島根、隠岐を担う子どもを育成を図ることを目的としています。（隠岐の島町の建設基本方針「隠岐びとづくり」を具現化する事業でもあります。）

### ＜具体的な取り組み＞

#### 学校の取り組み

- ・地域の教育資源を活用した学習活動を各学年で年間三十五時間以上実施する。
- ・全体計画を策定し体系的にふるさと教育を推進する。
- ・教育資源を収集・整理し、効果的な活用を図る。
- ・ふるさと教育の計画、実施状況について、情報発信を行う。

#### 教育委員会の取り組み

- ・ふるさと教育ネットワーク会議の設置。
- ・隠岐の島町ふるさと教育全体計画の策定。
- ・各小中学校の取り組みの支援。
- ・ふるさと教育を発展・補完・深化させるための生涯学習・社会教育事業を実施する。

地域の皆様には、ふるさと教育の趣旨にご理解をいただき、「子どもたちの育ちを支える支援者として」また、「自らの生涯学習の一環として」ご協力いただきますようお願いいたします。

# 犬来漁港漁村づくり総合整備事業が完了しました

- 整備年度  
平成6年度～平成16年度
- 事業費  
24億円
- 概要



漁港施設（防波堤、船揚場、船溜まり）  
 集落道（5箇所 1,280m）  
 下水道（2,500m、処理場）  
 水道（3,000m、配水池、浄水場）  
 防災安全施設（防火水槽、消火栓、防犯灯）

## 犬来地区とは・・・

犬来地区は西郷港より東側約6kmにある現在51世帯区民155名の地区です。

暮らしを豊かに、住みよい漁村づくりを地区と町が一緒になって計画しました。漁村づくり総合整備事業によって西郷地区を代表する漁業のまちとなりました。海と共に生きる熱い男達とそれを支えるやさしい女達、みんなで参加するまちづくりをおこなっています。

## 事業による効果

### 今までの地区は・・・

- 海がしけると湾内に波が押し寄せ船が心配。
- 地区内の道路は狭く、行き止まりの道があったり、緊急の時に車が家まで行けない。
- せっかく獲れた魚介類も新鮮なままで保存する場所や施設がない。
- 海があつての犬来だけど、洗剤や台所からの汚れた水で海が汚くなってきた。
- 水がちよろちよろしかでない。
- 火事の時に消火栓、防火水槽が少なく不安。

### 事業によって・・・

- 防波堤や護岸ができて湾内に安心して係船できるようになり、船持ちも増えました。
- 集落内に5つの道路ができ、緊急の時も安心。配り物もらくちん。
- 加工場や作業場ができて朝市の商品づくりに大忙し。男達の語らいの場に乾杯。
- 下水道ができてトイレも快適。海もきれい。お年寄りにもやさしい住まい。
- 水道が良くなって風呂を沸かすのも、お湯を沸かすのも早くなりました。
- 消火栓、防火水槽設置でもしもの時も犬来消防団で初期消火はばっちり。
- 防犯灯や街路灯の設置で夜道も安心。



なだはいがの～  
 浜がようになって、  
 じげの衆の  
 たまり場になったの～  
 ウッヒャッヒャッ～

下水がようになった  
 だけん、孫らが来て  
 もいいじゃ～

うまい魚（着）に  
 うまい酒こげな幸せ  
 なことはないじゃ！



朝日をおがみながら  
 網のしごすつと、  
 気持ちいいじゃ～！



あごも捕れたもんだけ  
 んちいとは  
 酒も飲ませんな。

隠岐の島町では、海の整備とあわせて漁村の快適な生活環境づくりと海の環境を守るため、現在漁業集落の環境整備事業を行っています。

現在、今津地区、油井地区の漁村の整備を行っています。

また今年から新たに箕浦地区で事業がスタートしました。



島根県の魚（あご）

みなとがつくるふれあいの輪

お問い合わせ先は  
 隠岐の島町 水産課：08512-2-8563（直）

# 社協の組織・概要

## 社協とは？

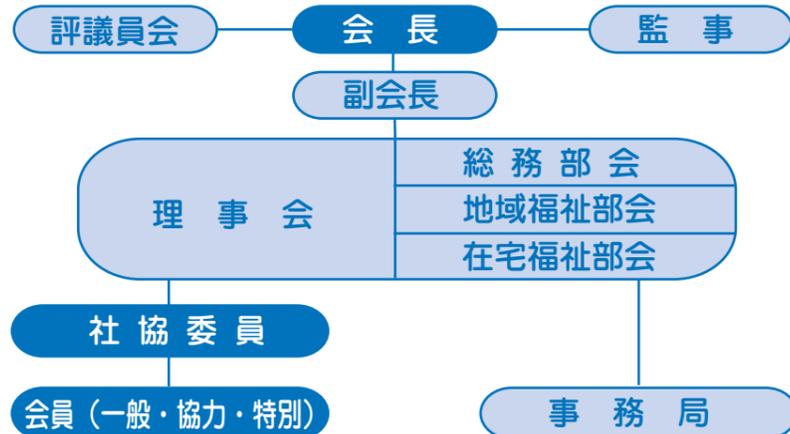
社会福祉協議会（略して社協といいます）とは、社会福祉法（第109条から第111条）にもとづき、各市町村に設置されている社会福祉法人の民間団体です。民間組織の自主性と、広く住民や社会福祉関係者に支えられた公共性という2つの側面をもっています。住民の皆様のほか、ボランティア、福祉施設・団体・グループなどの住民活動の支援を行っており、住民が安心して暮らせる福祉コミュニティづくりと地域福祉の推進を目的とする組織です。

## 社協の所在地

- 平成16年（2004年10月）西郷町・布施村・五箇村・都万村の社会福祉協議会が合併し、  
隠岐の島町社会福祉協議会が発足しました。
- 【事務所】（本所）島根県隠岐郡隠岐の島町原田396番地 隠岐の島町社会福祉センター内

## 社協の組織

社協事業の運営を担う理事、評議員、監事といった役員も地域団体、施設、ボランティア、行政関係等、様々な方が参画しています。隠岐の島町社協の組織は、理事15名、評議員33名、監事2名です。地域住民の代表や福祉団体、関係団体、関係機関、学識経験者等で組織され、皆様の声が反映される仕組みになっています。



## 社協の財源

社協の財源としては、自主財源として住民の皆様からの会費（一般会費・協定会費・特別会費）や、共同募金会からの配分金、寄付金などがあります。また、公共性という側面から社協で実施する福祉サービスや各種事業に対し、事業運営の経費として公費補助を受けています。その他に県や町からの事業受託金、また、平成12年度より介護保険サービスによる収入が、平成15年度からは支援費制度に伴う障害者福祉サービスによる収入が、新たな財源として加わりました。

## 今月の福祉は

- 役員交代
- 新局長の紹介
- 16年度決算及び事業実施報告

等についてお知らせします。



社会福祉法人 隠岐の島町社会福祉協議会  
TEL 08512 (2) 0685  
FAX 08512 (2) 4517  
E-mail saigo-fukushi@proof.ocn.ne.jp

No.5

## お知らせ

理事・評議員の交代について

退職された皆様には、在任中、大変お世話になりました。深く感謝申し上げます。今後のご活躍をお祈り申し上げます。

### 理事

(旧) 齋藤 忠則  
中前 千之  
(順不同敬称略)

(新) 竹林 行政  
土井 福弘

(任期・平成17年5月27日)  
平成18年11月24日

### 評議員

(旧) 船田 昇  
金 慎二  
田 和夫  
小野 昌士

(新) 岸根 伴都  
福浦 直愷  
山根 友夫  
斉藤 皓

(任期・平成17年5月25日)  
平成18年11月10日

## 新局長就任あいさつ



事務局長 村上 勝

5月から事務局長を務めさせていただいております。

何分、微力な私ですので、町民の皆様方のご指導ご協力を賜りながら、懸命に努めて参りたいと存じます。

どうぞよろしくお願ひ申し上げます。社協の基本理念は「穏やかな共生社会の創造」です。地域で生活する全ての人が安全で安心して暮らせる地域社会の実現を目指しています。

しかしながら、収入予算の減少、行政改革の推進など、年々厳しい組織運営を求められているところであります。

当然のことながら社協も改革の時であり、職員の技術・資質の向上を図り、町民に信頼される質の高い福祉サービスの提供と効率的な経営、透明性ある

事業運営が必要不可欠であると考えられます。

また、地域福祉活動の推進、ボランティアセンター事業、権利擁護事業、福祉教育など、町民の皆様からいただいた会費や助成金など極めて限られた予算で効率的にサービスを行うことが社協の重要な任務と考えております。

社協とは何か？町民の方々には十分には理解されていない状況を認識しながら、今後はさらに目に見える活動を展開して、着実に結果を出せるよう努力してまいります。

地域福祉は、社協だけで達成できるものではありません。町民の方々をはじめ福祉サービスの諸団体、ボランティア、行政の皆さんの心からのご協力、ご支援をお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。



福祉教育活動の推進

- 福祉教育推進会議の実施
  - 開催日 8月24日 参加 西郷地区内小中高担当者15名
- 地域ふれあい学習推進事業の推進(中村地区)
  - 中村地区を指定し、地域ぐるみの福祉教育の調査・研究を実施 (内容) 小学校公開授業参加・白島まつり参加・福祉体験学習への参画
- 福祉疑似体験の指導
  - 学校における福祉教育活動への支援  
福祉体験用具の貸出・体験学習の指導・体験学習への参画・授業への参加
- 小・中・高校における福祉教育活動への助成
  - 赤い羽根共同募金配分金事業  
福祉教育活動への助成

福祉所得者の推進

- 生活福祉資金貸付事業
    - 資金の貸付とあわせて民生委員による必要な援助を行い、経済的自立及び生活意欲の助長を目的に実施
- |                                      |
|--------------------------------------|
| 新規利用者2名<br>(償還中) 生活資金24件 / 離職者支援資金2件 |
|--------------------------------------|

地域福祉推進事業

- 判断能力が不十分な方を対象とし、日常の金銭管理・各種福祉サービスの利用援助・重要書類の預かりサービスを実施
  - 当事業の普及を図る目的で、社協広報「福祉」において、事業概要の紹介・専門員のコラム等を掲載
- |            |
|------------|
| 契約者数 12名   |
| 実利用件数 122件 |

受託事業

- 「食」の自立支援事業(配食サービス)
    - 調理の困難な高齢者に対して、栄養バランスのとれた食事を提供するとともに、安否確認を実施
  - 介護予防事業
    - 介護保険対象以外の方を対象に実施
- |   |
|---|
| 配食数 17633食<br>(西郷5815・布施4592・五箇2979・都万4247) |
|---|
- |   |
|---|
| 【通所(デイサービス)】 利用延べ人数4576名 (中条1772・中村412・布施364・五箇94・都万1934) |
| 【訪問(ヘルパー)】 利用延べ時間1177時間 (西郷1090・布施72・五箇15)                |

介護

- 指定居宅介護支援事業所の運営
    - 在宅福祉サービス(主にヘルパー派遣)や施設サービス(デイサービス・老人ホーム等)が適切に利用できるように、サービスの種類と内容等の計画(ケアプラン)を作成。利用される方の身体状況や環境に応じて、本人や家族の意向を基にしたサービスが提供できるよう、関係機関との調整やその他の便宜を提供
- |                  |
|------------------|
| 【西郷】年間約 2000件 作成 |
| 【布施】年間約 500件 作成  |

保険

- 訪問介護事業所の運営
    - 利用される方が、可能な限り在宅(自宅)で生活できるよう、サービスを実施(ホームヘルパーの派遣)
  - 通所介護事業所の運営
    - 社協運営の3箇所のデイサービスセンターにおいて各種サービスを提供(入浴・食事・その他)
- |                                |
|--------------------------------|
| 【西郷】13924回・17057時間(利用延べ人数943名) |
| 【布施】5135回・4387時間(利用延べ人数311名)   |
- |                           |
|---------------------------|
| 【中条デイサービスセンター】利用延人員 6538名 |
| 【中村デイサービスセンター】利用延人員 2483名 |
| 【布施蓬莱苑】利用延人員 5362名        |

事業

- 短期入所生活介護(ショートステイ)事業所の運営
  - 布施高齢者福祉センター蓬莱苑にて、入浴・食事・排泄などの日常生活上の介護・機能訓練等のサービスを提供
- 介護保険事業における各種問い合わせ先
  - 【居宅介護支援】・【訪問介護】 隠岐の島町原田390-3 (電話 2-8866)
  - 【中条デイサービスセンター】 // (電話 2-5922)
  - 【中村デイサービスセンター】 隠岐の島町中村557-1 (電話 4-0756)
  - 【布施高齢者福祉センター蓬莱苑】 隠岐の島町布施642-1 (電話 7-4373)

平成16年度 事業実施報告

16年度に当会が実施した主な事業につきまして、町民の皆様にご報告申し上げます。ご不明な点は、電話2-0685までお問い合わせ下さい

地域福祉活動の推進

- ボランティアセンター活動事業
  - ボランティア情報の発信
  - ボランティア養成講座の開催
    - ・「移送サービス講習会」3/5・6 参加30名 協力/兵庫県移送サービスネットワーク
    - ・ホームヘルパー2級講習(都万)受講31名
  - ボランティアサマースクールの開催(五箇)
  - 総合誌への「ボランティアセンターだより」の掲載 ~ 3回
- 福祉110番事業
  - 福祉なんでも相談室の開設(毎月第2・4火曜日)相談件数24件
- 福祉用具の貸出事業
  - 学校における福祉教育活動を支援する為、当会所有の車イス・疑似体験教材等の貸出(在宅高齢者等にも同様に貸出)
- 広報活動の推進
  - 総合誌への社協広報「福祉」を掲載(内容)事業(行事)等の紹介・報告・福祉活動啓発記事 予算決算報告等 ~ 6回
- 有償ボランティア事業(団体)の運営
  - 住民参加型在宅福祉サービス(有償ボランティア)4団体の運営

高齢者福祉活動の推進

- ふれあいいきいきサロン活動の育成支援
  - 町内で活動を行う8つのサロンに対する運営費の一部助成(計60回開催 延べ1737名参加)
  - 新規サロン設立に対する事務支援等
- 福祉スポーツ大会の実施
  - 第27回高齢者スポーツ大会の開催(西郷) 参加/約600名 会場/レインボーアリーナ
  - ペタンク大会の開催(五箇)参加/18チーム59名
  - 福祉スポーツ大会の後援(都万)参加154名
- 会食サービスの実施
  - ふれあいの集いの開催(西郷) 70歳以上の1人暮らしの方を対象に開催 参加127名 9月8・13日 会場/都万羽衣荘
- 敬老会行事への助成
  - 赤い羽根共同募金配分金事業(西郷)
    - 敬老会を開催した団体(自治会等)に対して助成を実施 対象/敬老会に参加した75歳以上の方 助成対象団体/26団体 延べ参加者数/1042名

障害者福祉活動の推進

- ワークハウス若葉の運営支援
  - 赤い羽根共同募金配分金事業
    - 活動費の助成(助成金額50,000円)
- 身体障害者福祉協会への活動助成
  - 赤い羽根共同募金配分金事業
    - 活動費の助成(助成金額150,000円)
- 手をつなぐ親の会への活動助成
  - 赤い羽根共同募金配分金事業
    - 活動費の助成(助成金額60,000円)
- 仲よし青年学級への活動費助成
  - 赤い羽根共同募金配分金事業
    - 活動費の助成(助成金額70,000円)

児童・子育て福祉活動の推進

- すこやか(出生記念写真掲載事業)の発行
  - 町内で出生したお子さんを総合誌に掲載し、児童福祉への関心を高める事を目的に実施(掲載者数55名)
- 子供会連絡協議会への活動助成と連携
  - 赤い羽根共同募金配分金事業
    - 活動費の助成(助成金額50,000円)
- その他の事業
  - 赤い羽根共同募金配分金事業
    - 保育園児クリスマスプレゼント贈呈事業(五箇) 対象69名
    - 新生児絵本贈呈事業(五箇) 対象10名
- 民生児童委員連絡会議の開催
  - 連携の強化とともに社協事業への理解を求めた(西郷) 日時/8月3日 参加41名
  - 民協五箇支部定例会への出席(五箇)
  - 民協都万支部定例会の開催(都万)

お問い合わせは、電話2-6377 専門員 小川までお気軽にどうぞ!

ちいきふくしけんりようごじぎょう

### 地域福祉権利擁護事業のご案内

この事業は、判断能力が不十分な方や日常生活に不安のある方の権利を擁護することを目的としています。

それらの方が、お住まいの地域で安心して自立した生活が送れるように日常的なお手伝いを行う事業です。

### このようなお手伝いをいたします

- 福祉サービスを上手に利用するための情報提供や利用手続のお手伝い(援助)
- 公共料金の支払いや年金の受領の確認など、日常のお金の管理のお手伝い(援助)
- 通帳や証書など、大切な書類の保管

### 利用料金はかかるの?

契約を結んだ上でお手伝い(援助)のサービスについては、有料となります。(1時間1,000円)ただし、生活保護を受けている方は無料です。

ホームヘルパーさんに来てほしい?

利用のための手続きをお手伝いします

通帳などの大事な書類の管理が心配?

安全な場所にお預かりします

お金の支払いでいつも困ってしまう?

生活支援員がお手伝いにかかっています



- |        |        |        |         |        |        |         |        |        |        |        |        |
|--------|--------|--------|---------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 金一封 栄町 | 金一封 有木 | 金一封 下西 | 金一封 茂代田 | 金一封 久見 | 金一封 山田 | 金一封 鳥取市 | 金一封 岬町 | 金一封 西町 | 金一封 有木 | 金一封 池田 | 金一封 那久 |
| 平田 芳春  | 荒木 裕子  | 上野 秀夫  | 是津 皆子   | 滝本 孝信  | 勝部 民子  | 米山 充    | 藤本 英彦  | 三河 愛子  | 村上 光吉  | 仲本 満智子 | 中井 ミホ子 |
| 様      | 様      | 様      | 様       | 様      | 様      | 様       | 様      | 様      | 様      | 様      | 様      |

見舞御礼

香典御礼

平成17年4月8日  
平成17年6月15日  
受付分掲載

見舞返しや香典返しとして次の方々より多額のご寄付をいただきました。紙上で厚くお礼申し上げます。お寄せいただいた浄財は本町の福祉向上のために、有効に活用させていただきます。

### 善意の花のコーナー



東郷の坂本三郎様より、まごの手50本が寄贈されました。

### 寄贈品の紹介

一つ一つが手作りの品です。お礼とともに皆様にご紹介いたします。

- |        |        |        |        |        |        |       |        |        |        |        |        |        |        |        |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 金一封 東郷 | 金一封 大久 | 金一封 港町 | 金一封 中村 | 金一封 都万 | 金一封 有木 | 金一封 郡 | 金一封 都万 | 金一封 久見 | 金一封 原田 | 金一封 布施 | 金一封 元屋 | 金一封 港町 | 金一封 中村 | 金一封 栄町 |
| 丸尾 武   | 濱岡 武   | 吉田 スイ子 | 細井 陸雄  | 田中 益江  | 大松 明   | 嶽野 正弘 | 真野 フク  | 川口 好文  | 佐々木 勝馬 | 北野 慶繁  | 高野 勇   | 吉塚 登   | 佐藤 広   | 坂本 淳   |
| 様      | 様      | 様      | 様      | 様      | 様      | 様     | 様      | 様      | 様      | 様      | 様      | 様      | 様      | 様      |

## 平成16年度 決算報告

### 収入の内訳

科目名	説明	金額
会費	一般会費 協年会費 団体会費 特別会費 他	6,579
寄付金	香典返し お見舞い返し 日本財団車輜寄贈(1350)	7,722
共同募金配分金	赤い羽根共同募金 歳末助け合い募金	5,729
受託金	給食サービス事業 地域福祉対策推進事業 通所介護事業	177,966
補助金	県・町からの事業に対する補助金	88,823
償還金収入	旧都万村民生融金償還金	1,450
利用料収入	利用者負担金(2級ヘルパー受講料 他)	6,805
介護保険収入	介護保険事業実施に伴う収入	170,430
分担金収入	隠岐地区社会福祉協議会より	685
雑収入・預金利息	退職金差益(五箇)9977 利息	9,982
その他	退職金(全国社会福祉協議会より)	39,815
経理区分間繰入金収入	各経理区分間で資金運用した額	142,368
積立預金取崩収入	五箇57000/西郷26769/布施1000/都万5020	89,789
前期繰り越し金	平成15年度繰り越し額	45,531
合計		793,674

### 支出の内訳

科目名	説明	金額
法人運営事業	法人運営(役員会費/職員給/事務費)191489 センター管理5901	197,390
給食サービス事業	西郷11843/布施6882/五箇2479/都万7163	28,367
地域福祉関連事業	地域福祉事業10651/ボランティアセンター事業10783 小地域ネット6018/心配事相談232/学童保育757	28,441
地域福祉権利擁護事業	事業実施に係る運営費	3,759
武良在宅介護支援センター	中村地区の介護保険サービス等利用に関する相談援助事業	3,195
訪問介護事業		西
郷62876/布施20396/五箇10811		94,083
通所介護事業	中村25135/中条61273/布施32911/五箇50806	170,125
居宅介護支援事業	西郷14852/布施5000	19,852
共同募金配分金事業	西郷4205/布施180/五箇806/都万806	5,997
丸ごとサポート事業	生活支援6236/都万デイ12701/生きがいデイ975	19,912
蓬萊苑委託事業	居住21747/短期15402/診療所9896	47,045
積立預金支出	各事業に対する不足分の基金取り崩し額	16,441
経理区分間繰出金支出	※事業繰り出し金による差額を含む	93,911
次期繰越金	平成17年度繰り越し額	

## 五箇地区

五箇小学校、  
田植えて体験学習



秋には豊作になるといいですね。



六月一日(水)、五箇小学校の二・五・六年生が郡・水源地横の実習田で、田植への農業体験を行いました。

隠岐の島町農業公社の方の技術指導の後、さっそく田んぼに入り丁寧に苗を植えていました。

二・五年生は初めての体験で、最初は手間取っていましたが、一生懸命頑張りました。六年生は二度目とあって、慣れた手つきで手早く苗を植えていました。

奈良県十津川高校

## 中地区

修学旅行で創設者の郷土を訪問



十津川校の生徒が顕彰碑のそばに、交流の証として世間桜の幼木を植樹しました。

六月二日(木)、奈良県十津川高校二年生三十三名が同校の創設者である儒学者・中沼了三生誕の地、中村を訪問しました。了三は一八六四年、孝明天皇の命で十津川に文武館(現在の十津川高校)を創設しています。あれから百四十一年間もの長い年月を経過していますが、生徒代表が顕彰碑の前で十津川郷民として、自分自身を育んでいく事がこの地と十津川をつなぐことだと力強くあいさつをしました。また、近くの古民家(佃屋)では中村中学校の村尾秀信校長先生が「中沼了三の志に学ぶ」を講義し、中出張所の職員が、地域で取り組んでいる活動等について紹介しました。



古民家佃屋で村尾校長先生の講話を聞く

明治維新の先覚者である中沼了三の影響を受けて島民が自力で自治政府を興した隠岐島コミューン(隠岐騒動)は八十一日間で歴史の闇に葬られました。が、今まさに求められているのは、合併後における地域の自立を目指した自治革命であります。この変革の時代に了三の志が再び甦るような「武良興し」に期待しています。

五月十八日(水)、京都市の太秦映画村において、布施中学校の修学旅行団(生徒十四名)が、隠岐観光PR活動を行いました。

当日は、関西布施人会の方々や、生徒の親戚関係の方の応援のもと、大漁旗を掲げ、銭太鼓や踊り(浄土ヶ浦小唄・キンニャモニャ)を披露しました。

また、パンフレットの配布やアワビ、サザエ、黒曜石、ひおうぎ貝、魚拓などを展示し、隠岐観光の説明を行いました。



大漁旗の前で

PR活動は、二回に分けて行われ、一回目は緊張や動揺していた生徒達も、二回目は納得いく活動が出来ました。

隠岐の島町で一番小さな中学校の生徒達ですが、貴重な経験を、大きな自身がついたのではないのでしょうか。

今後の学校生活でも、たくましく育ってほしいものです。



記念撮影 おつかれさま



亀の原といえばアイガモ。今日はアイガモもお花見です。



健康ウォーク参加者の皆さん。



花と緑のコントラストが、とても綺麗です。

毎年恒例となった、つつじ祭りが、五月十四日(土)亀の原水鳥公園で行われました。

つつじ祭りは、毎年四月末〜五月ごろに行われており、今年で7回目となります。

会場では、都万産直市やエビネの植樹、写真クラブの展示等が行われ、都万から会場までの健康ウォークも実施されました。

当日は天候にも恵まれ、つつじが満開となったこともあってか、子供連れや島外からの観光客など大勢の人が、公園周辺を散策し

たり、買い物をしたりして、のんびり、ゆったりと、穏やかな春の一日を満喫しました。

## 都万地区

五千本のつつじが満開!  
つつじ祭り開催

## 布施地区

がんばれ ふせっ子

# 隠岐の島町行事予定

日	月	火	水	木	金	土
6/26	6/27	6/28	6/29	6/30	1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31	8/1	8/2	8/3	8/4	8/5	8/6

…各種相談窓口…

女性相談窓口 : 月～金(9:00～16:00祝・祭日を除く) 隠岐支庁健康福祉局 TEL 2-9810

生活保護・母子相談 : 隠岐福祉事務所 TEL 2-9706

保健所相談窓口 : 隠岐保健所 TEL 2-9701

島根いのちの電話 : 毎日 9:00～22:00 社会福祉法人島根いのちの電話事務局 TEL 0852-32-5985

警察の相談窓口電話: 被害者相談 TEL 0120-556-491 悪質商法 TEL 0852-27-4649  
性犯罪 TEL 0120-110-267 ストーカー TEL 0852-24-9110

隠岐法律相談窓口予約受付: TEL 0852-21-3450  
前日17:00までに予約が0件の場合は開催しませんのでご了承ください。

**お気軽にご相談ください**

## お知らせコーナー

税務課より、まちづくり懇談会での質問へお答えします

各地区で開催されました「まちづくり懇談会」及び嘱託員会議で、質問のあった税務に関することにお答えします。問 口座振替だと明細が分からないが: 答 町税(町県民税、固定資産税、軽自動車税、国保税)については当初課税時に通知書をお送りしていますので、ご確認ください。なお、希望者には振替明細書をお送りしますので税務課(・2-8574)までご連絡ください。

水道、下水道の使用料についても希望者には事前通知書をお送りしますので、水道課(・2-0192)または下水道課(・2-8576)までご連絡ください。

問 口座引き落としの前に放送したかどうか。答 毎月の口座振替日は月末です。今後、毎月二十六日前後に口座残高の確認を、願う町内放送をします。

問 納税組合は存続させるのか。答 制度としては当面存続させます。なお、プライバシーや個人情報問題がありますので、納税組合の解散や組合員の加入脱退は自由であることを周知するとともに、個人情報の適正管理について組合に要請していきます。

### 「エコライフチャレンジしまね」参加者大募集

島根県では県内から排出される二酸化炭素を削減するため、「島根県地球温暖化対策推進計画」を策定し、県民、事業者、行政が連携を図りながら取り組むことになりました。

その取り組みのひとつ「エコライフチャレンジしまね」は、各ご家庭で「環境家計簿(エコチェックシート)」を記入していただくものです。環境家計簿をつけて無駄なエネルギー消費をチェックし、家計もプラスに変えてみてはいかがでしょうか!

お申し込み・問い合わせ先  
(財)島根ふれあい環境財団21環境推進課(島根県地球温暖化防止活動推進センター)  
0852-321-5953

### 戦没者等のご遺族の皆様へ 第八回特別弔慰金が支給されます

対象者 戦没者等の死亡当時のご遺族で、平

成十七年四月一日において、公務扶助料や遺族年金等を受ける方がいない場合に、次の順番による先順位のご遺族お一人

1. 弔慰金の受給権者
2. 戦没者等の子
3. 父母・孫・祖父母・兄弟姉妹(戦没者等と生計関係を有していなかった方等は除かれます)
4. 上記3以外の・父母・孫・祖父母・兄弟姉妹
5. 上記1から4以外の三親等以内の親族(戦没者等の死亡時まで引き続き一年以上生計関係を有していた方に限られます)

支給内容 額面四十万円、十年償還の記名国債

請求期間 平成十七年四月一日から平成二十年三月三十一日まで

請求窓口 隠岐の島町役場 本所 健康福祉課  
隠岐の島町役場各支所 健康福祉課  
隠岐の島町役場出張所

お問い合わせ 隠岐の島町役場 本所 健康福祉課  
福祉係  
2-8561

### 海岸クリーン作戦の実施について

今年度の海岸クリーン作戦が次の日程で行われます。美しい海と自然環境を守るために、多数の町民の皆様のご参加

加・ご協力をお願いします。

### ◎白島海岸クリーン作戦2005

主催 武良自治会  
実施日 平成十七年七月九日(土) 午前八時～十一時  
集合場所 中村海水浴場駐車場(七時五十分集合)

清掃区域 白島、伊後、西村、湊、松ヶ浦、脇灘、元屋海岸、中村海水浴場

◎大久・釜・犬来海岸クリーン作戦2005  
主催 大久区・釜区・犬来区連合会  
実施日 平成十七年七月十七日(日) 午前八時～十一時  
集合場所 各地区海岸(七時五十分集合)  
清掃区域 大久・釜・犬来海岸沿線



### 広報誌へのご意見

広報誌に町職員の人事異動を掲載して欲しいというご意見をいただきました。今後、人事異動があることにその内容を掲載いたします。